



真岡のより良い未来を考える 子ども議会



8月3日(木)、子ども議会が本庁舎の議場で開催され、今年度は市内の中学2年生21人が参加しました。子ども議会は、市議会の体験を通じて市政への興味・関心を深めるとともに、子どもの目から見た市政への夢のある提言を求めていることを目的としています。



議長紹介

議会を代表する議長は、議場の秩序を保ちながら会議全体をまとめる役割を担います。今回は次の3人が交代で議長を務め、中立かつ公平な立場で議事を進めました。



長沼中 亀田 翔慎 議長



久下田中 小林 ひかり 議長



物部中 土井 颯真 議長

議員・質問内容



いちごを身近に感じてもらうため、複合交流拠点施設のカフェでいちごのスイーツ等の提供を提案します。

真岡中 石塚 心結 議員

【答弁】令和7年春開館予定の複合交流拠点施設の1階には、カフェやイベントスペース、飲み物を飲みながら読書などができるスペースを予定しています。カフェでは、食べ物の提供も検討していますので、「いちご王国栃木の首都もおか」として、いちごを使ったメニューを提供できるよう進めていきます。



高齢者が健康に過ごせる環境づくりのために、公園などの遊歩道にアートを設置することを提案します。

真岡中 北川 柰奈 議員

【答弁】現在、公園内にアート作品を設置している公園はありませんが、今後、野外展示の申し出があった場合は、公園への設置も含めて検討していきます。また市では、久保記念観光文化交流館やまちかど美術館などを整備していますので、街中を歩いて楽しみながら健康づくりにも役立てていただきたいと思います。



幼稚園・小中学生を対象にいちごの生産などについて学が授業やいちご狩り体験を実施してはいかがでしょうか。

真岡中 天谷 亮太 議員

【答弁】市では、小学3年生の社会科でいちご生産について学習していますが、いちご農家さんによる出前講座の活用についても各校へ働きかけたいと思います。また、新たなイベントの開催は難しいところですが、毎年開催する「いちごまつり」に多くの子どもたちに参加してもらえるよう積極的にPRしていきます。



もおかベリー号を学生が利用できるよう、土日にも運行し、関連施設にガイドブックを設置してはいかがでしょうか。

真岡東中 丸山 雄大 議員

【答弁】もおかベリー号は、自家用車等に頼れない方が買い物や通院に利用することを目的として、平日の増便の要望や、効率的・効果的に運行する必要があるため、土日の運行は難しいと考えています。また現在ガイドブックは、公共施設などに設置していますが、運行ルートを考慮し、商業施設や観光施設にも設置したいと思っています。



市民の防災意識を高めるために、年に1度、真岡市が運営する防災訓練を実施することを提案します。

真岡東中 本田 政斗 議員

【答弁】市では、6月と11月に毎年順番で地区や中学校区の実情に合わせた防災避難訓練を実施しています。この訓練に、開催地区の小中学生にも参加してもらえるよう、呼びかけを強化し、1人でも多くの方に防災意識を持ってもらえるよう、防災体制の強化を図っていききたいと思っています。



障がい者への理解を深めるため、小中学校の児童・生徒と障がい者の交流の機会をつくることを提案します。

真岡西中 飯島 さや香 議員

【答弁】市では、障がい者に対する理解を深めるため、小中学校では車いす体験や手話講習、市社会福祉協議会では障がい者と一緒に行うスポーツや料理などの講座を実施しています。今後は、障がい者施設への訪問を希望する方に、受け入れ可能な施設を紹介するなど交流機会の拡充を図りたいと思っています。